

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2025年4月15日

事業ID:2024000868

事業名:宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営と車両整備(3年目)

団体名:特定非営利活動法人アスイク

代表者名:代表理事 大橋 雄介 印

TEL:022-781-55764

事業完了日:2025年3月31日

■契約時

事業費総額	:	17,540,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	17,540,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	17,493,574 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	574 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	17,493,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	47,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営および備品整備
(1)期間:2024年4月～2025年3月(週5日、14時から20時まで開所)
(2)場所:宮城県岩沼市
(3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営および備品整備
(1)期間:2024年4月～2025年3月(週5日、14時から20時まで開所)
(2)場所:宮城県岩沼市
(3)対象:22名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援した。また拠点運営に必要な什器家具等の等の備品整備を行った。

(3)成功したこととその要因

登録児童数が20名を超えた。学校、他機関等との協働を継続し、関係づくりを強化してきたことで堅調なリファールを増やしたことが成功要因。

(4)失敗したこととその要因

昨年度同様に登録児童数の伸びが想定よりも悪かった。自治体担当課からの繋ぎが低調のため、課とはコミュニケーションの場を創出し、変化を期待した取り組みを開始。学校向け見学会など他機関リファールを増やす取り組みも始めるが成果につながるには一定期間の継続が必要と思われることが要因

(5)事業内容詳細

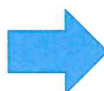
事業成果物等参照

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの車両整備

- (1)整備車両:乗用1台
- (2)整備状況:利用児童の送迎のための整備
- (3)定員:7名



(2)事業内容の実施(完了)状況

宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの車両整備

- (1)整備車両:TOYOTA新シエンタHEV1台
- (2)整備状況:利用児童の送迎のための整備
- (3)定員:7名

(3)成功したこととその要因

一般競争入札 3社のうち1社で決定

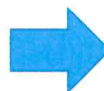
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

事業成果物等参照

■事業内容3

(1)契約時の事業内容



(2)事業内容の実施(完了)状況

(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

--

(5)事業内容詳細

--

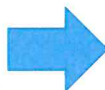
■事業内容4

(1)契約時の事業内容

--

(2)事業内容の実施(完了)状況

--



(3)成功したこととその要因

--

(4)失敗したこととその要因

--

(5)事業内容詳細

--

2.契約時事業目標の達成状況：

(1)助成契約書記載の目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・2025年3月31日までに一日平均利用児童数を18名にする・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に12回実施する |
|---|

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	477	文字数チェック	OK
・2025年3月末時点で利用児童数は22名であったが、一日平均利用児童数は7名程となった。 ・1年間、大きなトラブルなく食事や生活習慣支援を安定的に提供することができた。 - 利用延べ日数1,719日/年。複雑な家庭環境、不登校、食事も十分に摂れていない子ども達に全日夕食提供実施。挨拶、時計の読み方、食事マナーなどの生活習慣支援も実施。 ・行政、学校との関係構築は利用児童を通じて連携を深め、拠点見学会等も実施。 - ボランティアは地域の学生ボランティアを中心に15名が延べ250時間程度の活動実績を残した。 ・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントは月に2～3回実施し、延べ40回実施。 - MORIUMIUSオンラインプログラム 11回 拠点調理イベント 5回 地域企業見学 1回 - 子ども企画行事 6回 収穫体験 1回(芋掘り) 乗馬体験 1回 体育館活動 8回 - 他機関協働 4回 宿泊体験 1回 他体験プログラム2(ミニシアター、バケツ米) - 子どもたちの機会的貧困に対して様々な体験プログラムを用意した。			

3.事業実施によって得られた成果

・宮城県内初となる子ども第三の居場所事業の拠点運営2年目ということで近隣自治体、学校、他団体などの見学受入れを15件対応。そのうち1件はテレビ取材。 ・学校や他団体からのリファーも昨年度に比べて増加した。 ・登録児童が増え、拠点内のこども同士の関係性に変化がみられた。また初の拠点卒業生を送り出すことが出来た。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

・昨年同様、利用に至るまでに課題が大きいケースに対して、関係機関と連携を図りながらアプローチしてきたが、自治体担当課とのさらなる意識共有に課題を感じ、コミュニケーションの機会を増やすたの取り組みに移っている。行政協力を強化し、対応力を高めていきたい。 ・利用登録に至ったが、来所を継続出来ない児童も増えてきている。 - スタッフの支援力向上、法人内外の相談機関との連携強化、拠点の過ごし方についてのルールの見直し、子どもの意見反映などについての再整理を進めていく。
--

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

該当なし

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください↓

<https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2022/03/grafui32.pdf>

(なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

<https://fields.canpan.info/report/detail/32561>

2024年度 収支計算書

2024年4月1日 から 2025年3月31日まで

事業ID:2024000868

(单位:%)

事業名:宮城県岩沼市における「子ども第三の居場所」常設ケアモデルの運営
と車両整備(3年目)

契約書(記3)に記載の補助率

100

団体名:特定非営利活動法人アスイク

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	助成金返還見込額
			自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	17,540,000	17,493,000	47,000
② 自己負担		574	
③ 収入合計	17,540,000	17,493,574	47,000

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の予算額 (x)	決算額 (y)	補足説明、備考
給料手当	11,692,800	12,250,012	
印刷製本費	60,000	66,319	
旅費交通費	312,000	205,537	
通信運搬費	214,000	100,048	
消耗品費	420,000	481,793	
水道光熱費	480,000	549,251	
保険料	290,000	195,383	
食材費	600,000	359,297	
使用料	331,200	205,042	
その他			
備品費	3,145,560	3,080,892	
支出合計(端数調整前)	17,545,560		
端数調整欄	-5,560		
④ 支出合計(端数調整後)	17,540,000	17,493,574	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生
有り

※「有リ」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力が間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額 (A)③収入合計=予算額 (x)④支出合計	OK
決算額 (B)③収入合計=決算額 (y)④支出合計	OK

セルフチェック項目（プルダウンで選択）

- ☒ ① (収入の部)の予算額(A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
- ☒ ② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と(支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
- ☒ ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。